*2026年05月改訂（第3版）
2017年10月改訂（第2版 新記載要領に基づく改訂）

医療機器認証番号：15400BZZ00284000

機械器具　56　採血又は輸血用器具
管理医療機器　　血液成分分離バッグ　（JMDNコード：70357000）

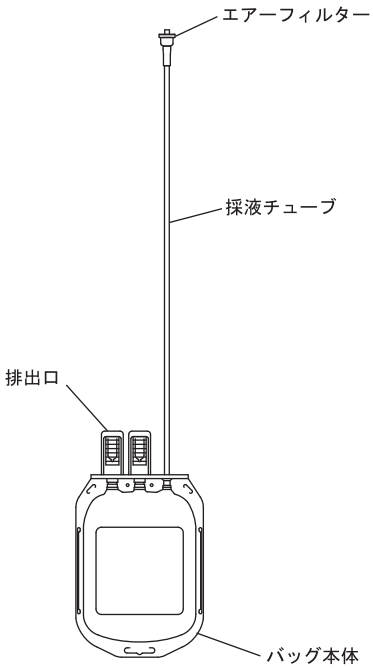
テルモ分離バッグ

（無菌接合装置接続用／調製用バッグ）

再使用禁止

【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
再使用禁止、再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】
＜構造図（代表図）＞



＜血液・体液に接触する部分の原材料＞

部品名	原材料
バッグ本体	軟質ポリ塩化ビニル
採液チューブ	軟質ポリ塩化ビニル
排出口	軟質ポリ塩化ビニル

＜原理＞
各種血液成分を分離し、貯蔵し、輸血するために使用する血液バッグであり、JIS T3217 血液成分分離バッグに適合するものである。

【使用目的又は効果】
本品は各種血液成分を分離し、貯蔵し、輸血するために使用するバッグである。

【使用方法等】
＜組み合わせて使用する医療機器＞
本品は、専用の採血、輸血チューブ用加熱溶融接合装置　テルモ無菌接合装置TSCD202（医療機器届出番号13B1X00101000047）又はテルモ無菌接合装置TSCD-Ⅱ（医療機器届出番号13B1X00101000044）（以下、TSCD）と併用して使用する。

1. 別に用意した血液製剤等（以下、製剤）のチューブをTSCDにセットして、TSCDの取扱説明書に従って接合する。
2. 必要量を分離バッグに採取した後、チューブシーラーを用いて本品と製剤を切り離して終了する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. あらかじめ接合部に緩みがないことを確認してから使用すること。また、使用中は定期的に緩み、外れがないことを確認すること。
2. チューブが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないこと。
3. TSCD接合後、接合部に液漏れ等の異常がないことを確認すること。

＊【使用上の注意】
＜重要な基本的注意＞

1. 脂溶性の医薬品ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（2-エチルヘキシル）が溶出するおそれがあるので、注意すること。
2. チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないように、また、はさみや刃物等で傷をつけないように注意すること。［チューブに液漏れ、空気の混入、破断が生じる可能性がある。］
3. チューブ及びチューブと接合している箇所、ならびにTSCDを用いたチューブ接合部は過度に引っ張るような負荷やチューブを押し込むような負荷、チューブを折り曲げるような負荷を加えないこと。［チューブが破損する、又は接合部が外れる可能性がある。］
4. 遠心操作を行う時は以下のことに注意すること。
   (1) 遠心用インナーカップを使用すること。
   (2) バッグ本体をカップの底に密着させるなどしてバッグ本体とカップの間に隙間ができないようにすること。
   (3) チューブ等はバッグ本体と直接触れないようにチューブと共にバッグ上部の排出口に巻きつける等して、カップからはみ出さないようにすること。
   (4) 巻きつけたチューブ等はバッグ本体とカップの間にはさまないこと。［遠心中にバッグを破損させる可能性がある。］
5. いったん開封・接続した製剤及び本品を再保存しないこと。［血液の凝固、汚染等の可能性がある。］
6. バッグの素材は血液が凍結するような低温下では軽い衝撃によっても破損しやすくなるので、血漿成分保存等のためにバッグを凍結保存する際には、取扱いに十分注意すること。
7. 油性ペン等でバッグ本体に書き込まないこと。［インク成分がバッグ内の血液に移行する可能性がある。］
8. 包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意し安全な方法で処分すること。

＊ 9. 本品は急速凍結機や液体窒素を用いた凍結に使用しないこと。
＊ 10. 本品に放射線を照射しないこと。

【保管方法及び有効期間等】
＜保管方法＞
水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
＜有効期間＞
使用期限は外箱に記載（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：**テルモ株式会社**

電 話 番 号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター